介護情報基盤をスムーズに活用するために



「包括同意」と「本人確認」の仕組み

Gemini Notebook

情報共有が、紙からデジタルへ。

認定情報やケアプランなどが、画面上でスピーディに確認できるようになります。

これまで



これから



Gemini Notebook

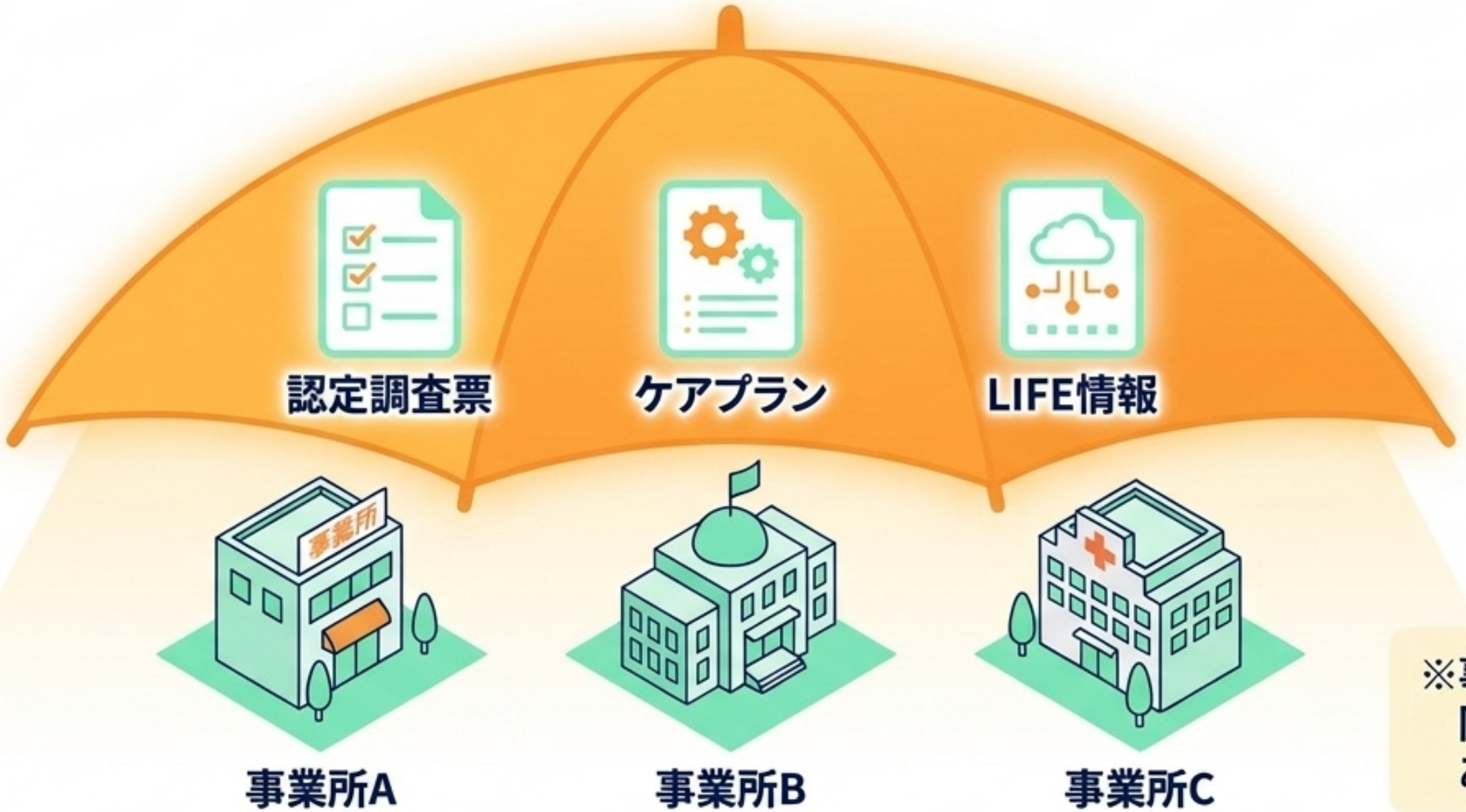
利用者の大切な情報を守りながら共有するため、現場では「2つの手続き」が必要になります。



Gemini Notebook

1回の同意で、すべてカバー。

「今後の情報」も「関わる全ての事業所」も、
最初の1回の同意（包括同意）で情報の閲覧が可能になります。



※事業所ごとに毎回
同意を取る必要は
ありません。

Gemini Notebook

同意の取得方法は、2パターンあります。

① 市町村の窓口で（認定申請時）



② 介護事業所で（システム画面から）



Gemini Notebook

閲覧するスタッフを、正しく限定する。

情報を閲覧できるのは、「利用者本人と関わりのある事業所」だけ。
そのため、最初にシステム上で「目の前に本人がいること」を確認します。



Gemini Notebook

本人確認も、2つの方法から選べます。

① マイナンバーカードで読み取り（確実・簡単）



② 介護保険証の情報を手入力（カードがない場合）

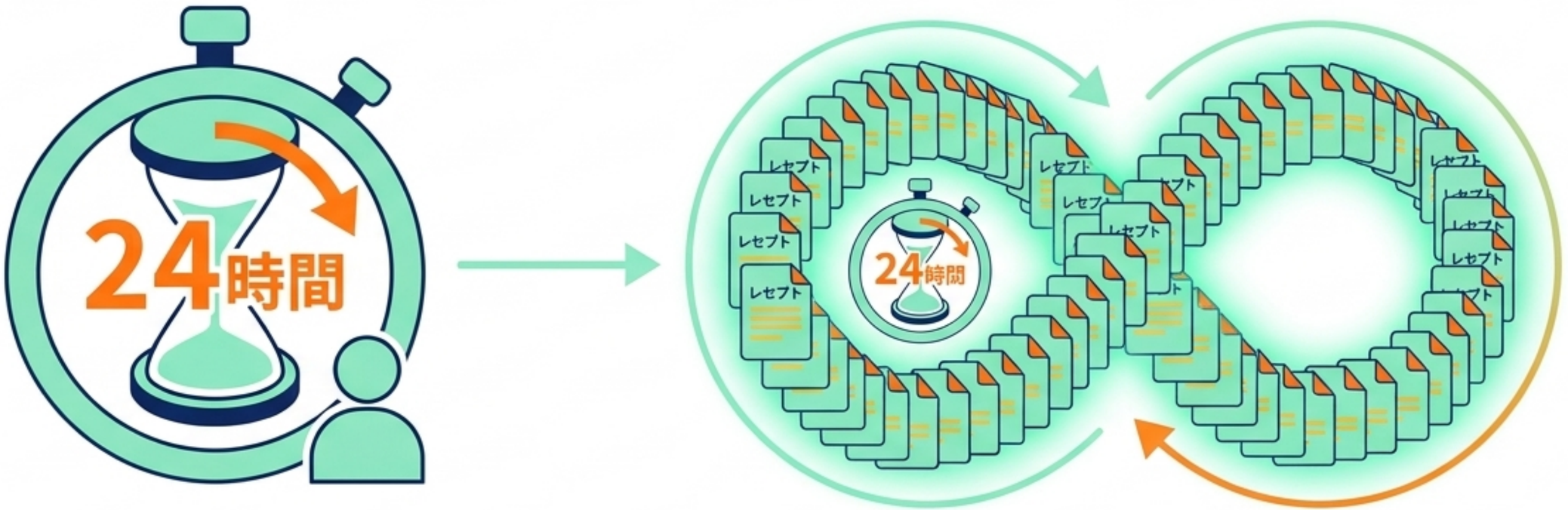


Gemini Notebook

一度確認すれば、継続利用中は再確認不要です。

【原則】本人確認後、24時間以内に
システムで初回登録。

【延長】その後はサービスを利用し続ける限り、
閲覧期間が自動で延長されます。



Gemini Notebook

まとめ：情報共有スタートまでの流れ

① 包括同意を得る
（または市町村で取得済み）



② システムで本人確認をする



③ これでスムーズな情報閲覧が可能に！



Gemini Notebook